

学園創立 53 年記念講話

宮崎日本大学学園は、4月25日（月）で創立53年目を迎えます。それを記念して、朝の正姿黙想終了後、後藤信一理事長が校内放送で講話を行いました。

まず、先週発生した熊本地震へのお見舞いを述べ、これまでの学園の歴史を振り返りました。

宮崎日本大学高等学校は、昭和38年に宮崎県、宮崎市の支援を得て、全寮制の男子校として開校しました。昭和61年には中学校が開校し、名前を「宮崎日本大学学園」と改めました。そして、平成25年に創立50年を迎えました。中学校は今年で創立30周年を迎えます。開校以来、学園はさまざまな発展を遂げ、進化し続けています。

後藤理事長は、「在校生の皆さんの活躍で学校が輝く。これからも努力し、自分の目標を実現してください」と講話を締めくりました。

宮崎日本大学学園は、これからも未来を見据えて学園づくりに励んでいきます。今後とも、宮崎日本大学学園をよろしくお願い致します。



講話する後藤信一理事長



現在の校舎（正面玄関）



開校当初の高等学校校舎。周りは田んぼばかりです！



当時の学校前バス停

4月25日（月）は 創立記念日のため**休校**です